

Dr.越知の  
不妊治療  
誌上セミナー



ochi masanori  
院長 越知正憲

藤田保健衛生大学大学院卒。愛知県内の病院で経験を積み、最新設備と最先端技術を持つ同院を開院。名古屋地区で最大規模の不妊治療専門クリニックとして、身体にやさしい治療を続ける一方、藤田保健衛生大学客員講師も務める。

第1回

子供が欲しいのに  
授からない理由

およそ7.5組中1組のカップルが悩んでいるといわれている不妊。なぜ不妊になるのかりスクファクターを知り、心に留めて生活したい。

将来の妊娠を見据え  
日頃から身体を大切に

子供を望む夫婦にとって、不妊は切実ながら人に相談しづらいデリケートな問題だ。何が原因で妊娠できない状態になり、またそれを予防するにはどのような方法があるのだろうか。身体にやさしい体外受精を行う不妊治療専門クリニックである、おち夢クリニック名古屋の越知正憲院長にうかがった。「不妊の原因は人それぞれですが、意外に知られていないのが性感染症が引き起こす不妊です」。たとえばクラミジアは卵管に炎症を起し、卵管が塞がり受精を妨げてしまうことも。クラミジアは自覚症状がない場合が多く、また妊娠しても流産の原因になることもあるため、検査で感染が疑われたら不妊治療の前に完治させておくことが大切

だ。「子宮内膜が薄くなり着床できにくくなる可能性もある妊娠中絶の手術も、不妊の原因になり得ます。妊娠を希望する前は、避妊と、性感染症を防ぐ安全性な性交渉を心掛けてほしいですね」と越知院長。

ほかにも平均初婚年齢が上がっている現在では、加齢による女性の卵巣機能低下も無視できない。「目安として35歳を上限に妊娠を考えるといいでしょう。当院でも患者の年齢によつて、しばらく様子を見るか、すぐにでも体外受精や顕微授精といった不妊治療をすすめるかを判断しています」。確かな知識を持つ医師からアドバイスをもらい、妊娠の可能性が見えてくれば自然と心も軽くなる。「悩みを抱え込まず、早めに相談に来てください」と越知院長は話している。



1.待合室には、緊張をやわらげるアロマが香る。2.患者同士の交流の場となっているお話しノート。治療中は互いを励まし合い、妊娠の喜びも分かち合う。

おち夢クリニック名古屋

おちゆめくりにつくなごや

DATA

- ☎052-968-2203
- 📍名古屋市中区丸の内3-19-12 久屋パークサイドビル8F
- 🕒月~木・土/10:00~12:30 16:00~18:30、祝/10:00~12:30
- ※火/16:00~18:30 金・日/10:00~12:30は指定患者のみ
- 💰金 人工授精¥15,750~ ②不可 ③なし
- 🚗地下鉄名城線・桜通線久屋大通駅2A出口より徒歩1分
- 🌐www.art-ochi.com



WHOによる不妊の定義

WHO(世界保健機関)によると、「妊娠を希望する男女が、避妊をせず2年以上性生活を送っても妊娠をしない状態」とされている。しかし越知院長によれば、女性の排卵日を把握した上で性交渉を行い1年以内に妊娠しなければ、不妊症の可能性が高いという。ぜひ産婦人科の受診を検討したい。